

第2次

恵庭市地域公共交通総合連携計画

概要版

(平成28年度～平成31年度)



現状と課題

平成22年に策定された恵庭市地域公共交通総合連携計画の基本計画期間(平成22年度～平成24年度)内に行う事業はおおむね達成され、継続するものは現在まで継続しています。しかし、策定から6年が経過し、利用者数の増加は停滞しています。そこで、さらなる推進を図るべく、庁内で実施しているアンケートの結果や昨年実施したエコバス乗り降り OD 調査、公共交通利用促進調査の結果に鑑み、路線とダイヤの利用促進に向けた利用者要望への対応はまだ改善の余地があることから、第2次恵庭市地域公共交通総合連携計画を策定します。

計画の位置づけ

第5期恵庭市総合計画

基本目標V | 地域資源・都市基盤を活かすまち

20 | 安全で円滑な地域交通

20-2 身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)



都市計画マスタープラン

2-3 まちづくりの基本方針 20 | 安全で円滑な地域交通

① JR3駅周辺を中心とした「集約型都市構造」の形成

② 「歩いて暮らせるまちづくり」の推進



第2次恵庭市地域公共交通総合連携計画

基本方針

歩いて暮らせるコンパクトシティを支える公共交通の実現

市民の利便性向上を図るため、鉄道、バス等、各交通機関の特性を生かした、効果的な連携・組合せの仕組みを構築し、集約型都市構造を支える交通体系の確立、公共交通システムの構築に努めます。

実施事業

1. 効率的なバス運行体系の構築

事業内容	<ul style="list-style-type: none">・総延長距離、所要時間の短縮、遅延や迂回の必要がない路線を目指すことで増便や通勤・通学におけるJR便への結節強化を図る。・高校生への通学時間に配慮したダイヤを導入する。
実施方針	<ul style="list-style-type: none">・実証運行を平成 30 年度に予定。利用状況や利用者ニーズを調査分析し、路線の見直しを行い、実証を重ねる。・通勤・通学調査の結果を基に、通勤での利用の多い JR 便の中で何本か絞って、ダイヤを設定する。・快速エアポートはパターンダイヤになっていることから、できるだけ前後に収まるようなダイヤを設定する。・高校生への通学時間に配慮したダイヤを設定する。

2. わかりやすい路線とダイヤの設定

事業内容	<ul style="list-style-type: none">・円環路線化により、コースを「時計回り／右回り」「反時計回り／左回り」と説明できるようになるなど、利用者にとって分かりやすいものとなり、乗っていれば目的地に到着する路線とする。・利用促進を図るため、利用者にとっては記憶しやすくわかりやすい毎時の時刻が固定されるパターンダイヤを設定する。
実施方針	<ul style="list-style-type: none">・循環路線から円循環路線へと変更する。・バスの増車などにより大幅にダイヤの間隔を短縮することで、各バスにおいて毎時の固定した時刻となるようなダイヤとする。

3. 環境とバリアフリーに配慮した車両の導入

事業内容	<ul style="list-style-type: none">・環境に配慮して平成 22 年の排出ガス規定を満たし、バリアフリーに適合した車両を購入する。
実施方針	<ul style="list-style-type: none">・調査結果から、利用者の特性や利用者数に応じてバスを選定し購入する。

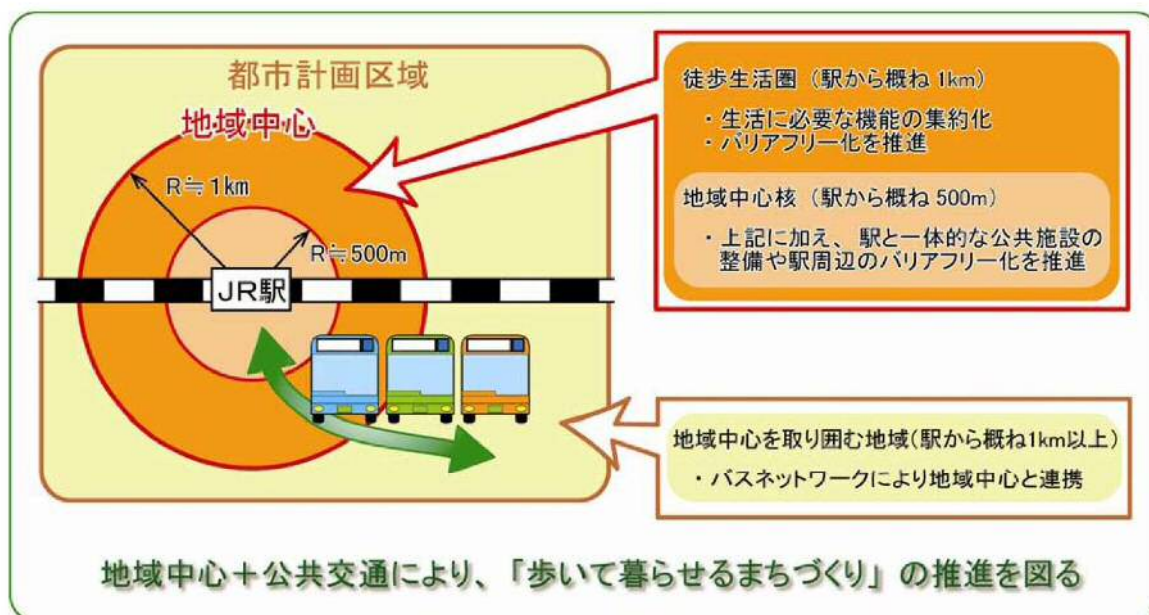
4. 様々な市民を対象としたモビリティ・マネジメント

<p>事業内容</p>	<p>・バスマップを利用してアンケート調査などを実施し、バス利用評価や利用意識啓発などを行う。</p>
<p>実施方針</p>	<p>・バス利用者にアンケート調査を実施して新交通体系の理解度やバス利用評価を行う。</p>

5. 交通空白地域の解消

<p>事業内容</p>	<p>・交通空白地域を中心に対象地域の自宅から主な公共施設、商店、病院などに送迎を行う乗合タクシーを継続する。</p>
<p>実施方針</p>	<p>・現行の乗合タクシーの事業を継続しつつ、エコバスの路線変更など交通空白地域に変更があった場合はすみやかに対応する。</p>

【参考】



計画期間

本計画の期間は平成28年度～平成31年度までとします。期間中は、本計画を実効あるものとするため、関係者と密接な連携を図り、PDCAサイクルにより、公共交通活性化に向けたスパイラルアップをめざします。また、期間中に地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の策定を検討します。

計画期間のスケジュール

目標	事業	スケジュール			
		H28	H29	H30	H31
効率的なバス運行体系の構築	えにわコミュニティバス路線再編実証運行	検証	検証	実証運行 (本格運行)	本格運行
わかりやすい路線とダイヤの設定	わかりやすい路線とダイヤの導入	検証	検証	路線再編と併せて実施	路線再編と併せて実施
環境とバリアフリーに配慮した車両の導入	環境基準適合車両購入		購入検討	購入検討	購入検討
様々な市民を対象としたモビリティ・マネジメント	モビリティ・マネジメント等利用促進事業	継続的に展開			
交通空白地域の解消	乗合タクシー(エコタク)の継続	継続的に展開			



平成28年12月

恵庭市生活環境部生活安全課